

☆ 北星学園大学チャペルコンサート ☆

揚原祥子ピアノコンサート

= シェイクスピア没後400年に寄せて =



あげはら さちこ
揚原 祥子

旭川市生まれ
千葉大学教育学部准教授

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学ピアノ科を首席で卒業、同大学院修士課程修了。大学院在学中、安田生命クオリティオブライフ文化財団の奨学金を得て、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。大学在学中、第58回日本音楽コンクール第1位、野村賞、井口賞受賞。学内にて安宅賞受賞。

ドイツの電力会社に招かれ、デュッセルドルフ、エッセン、ケルンで演奏会に出演。

近年は国内各地でソロリサイタルを開催するほか、歌曲伴奏や室内楽の活動も数多い。第一生命ホールオープニング特別演奏会、キタラホール10周年記念コンサートなどに出演。日本フィル、札幌などのオーケストラと共演。NHK-FM「FMリサイタル」「名曲リサイタル」出演。音楽之友社より3枚のCDをリリース。

ラヴェル : 水の戯れ

ヘンデル : シャコンヌ

ダウランド : 涙のパヴァーヌ (スヴェーリンク編)

ベートーヴェン

: ピアノソナタ第17番「テンペスト」Op.31-2 ほか

9/28(水)

昼12:10開演

北星学園大学チャペル

(東西線大谷地駅 徒歩5分)

入場無料 (予約不要)

開学50周年時に入替えられた北星チャペルの新しいピアノ(Shigeru Kawai SK-5)。ピアノソロでのお披露目をしていただいた揚原祥子さんの演奏で、楽器とチャペルの調和の深まりをお楽しみください。

ことし2016年はシェイクスピア没後400年。それにちなんだプログラムをお届けします。「この世界はひとつの劇場、ひとは誰でもみな役者」(シェイクスピア)。ピアノが紡ぐ音世界、わたしたちをどこに連れて行ってくれるのでしょうか。

